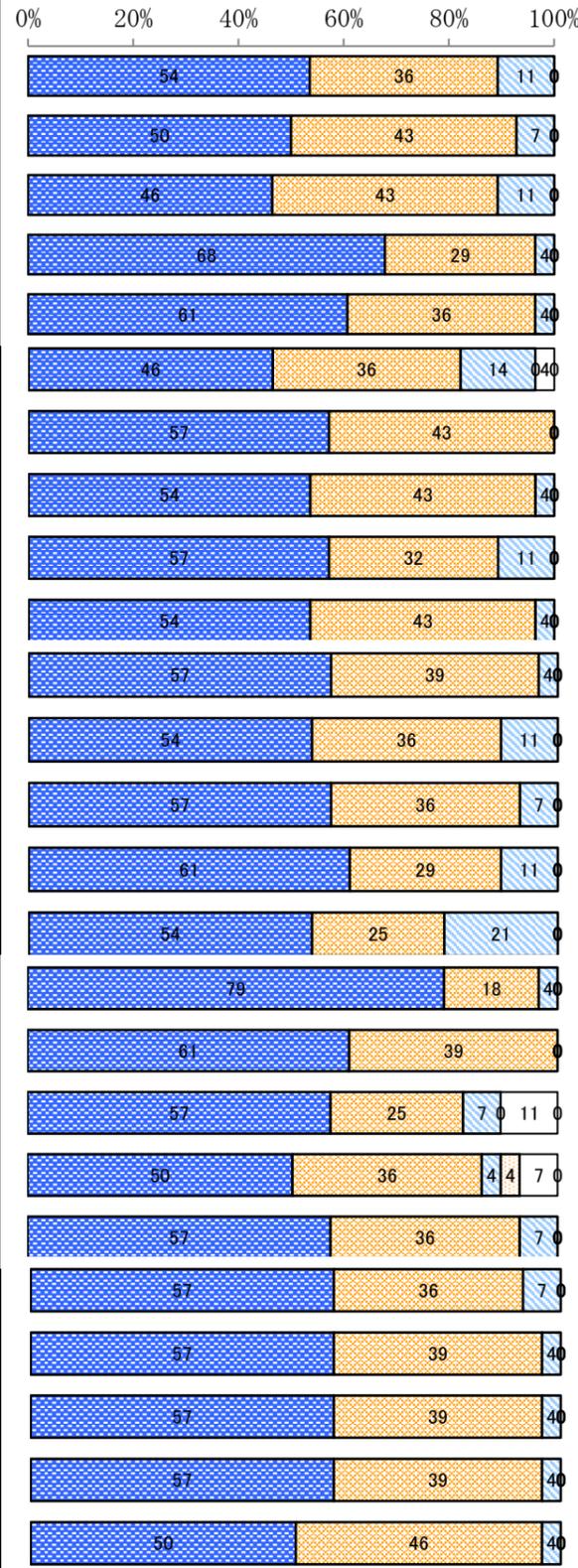
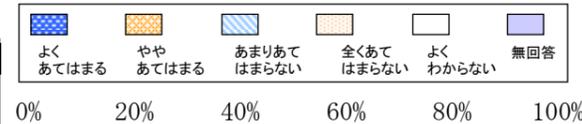


令和4年度 『学校評価アンケートの結果』 と 『自己評価』

荒川区立第九峡田小学校

		アンケートの結果		上段：児童 下段：保護者等 グラフ：教職員						
		A	B	C	D	よく分らない	無答			
学校全体の様子	1 教育目標・方針	児童・生徒や保護者等と共有できるように学校の教育目標を示し、方針を説明している。	39	42	12	2	6	0		
	2 児童・生徒の様子	児童・生徒は、明るく素直で、生き生きとした楽しい学校生活を送っている。	64	24	5	4	1	0		
	3 基本的生活習慣	児童・生徒の服装や通学態度、挨拶など基本的な生活習慣がしっかりしている。	67	22	6	2	3	0		
	4 児童・生徒理解	児童・生徒の良さや努力しているところを見つけ、励まし、理解しながら一人一人の能力を伸ばすように努めている。	50	36	9	4	1	0		
	5 健康・安全・安心	児童・生徒の健康や安全（確保・対策）に配慮するとともに、主体的に行動できる防災教育を充実している。	53	35	9	1	1	0		
学力向上の取組	6 分かる授業	楽しく分かりやすい授業が実践されている。	38	39	14	3	5	0		
	7 個に応じた指導	習熟度別学習等、児童・生徒一人一人の理解の程度に応じた学習指導が行われている。	58	27	9	3	3	0		
	8 学習習慣	放課後の補充指導等を行うとともに、家庭での学習課題を提示する等、学習習慣の定着を図る工夫をしている。	54	30	11	2	3	0		
	9 情報教育	タブレットPCなど、ICT機器を活用した教育を推進しながら、情報活用能力の育成に向けて取り組んでいる。	38	43	13	3	3	0		
	10 学校図書館の活用	読書と学習に役立つ学校図書館として活用されている。	59	29	7	1	3	0		
社会性・人間性の育成	11 人権教育	自他を大切に、偏見や差別を許さない豊かな人権感覚を育てる教育を行っている。	60	27	7	3	2	0		
	12 道徳教育	生命を大切にする気持ちや他人を思いやる心、善悪の判断や規範意識を育てる等、道徳性をはぐくむ教育を行っている。	39	39	10	4	7	0		
	13 教育相談	教育相談を充実し、いじめや不登校を防止する等児童・生徒一人一人の居場所がある学校づくりに努めている。	52	35	9	2	1	0		
	14 人間関係づくり	学校行事等の教育活動を工夫し、体験活動を充実させながら望ましい人間関係が築けるよう取り組んでいる。	32	45	13	3	7	0		
	15 自治的な活動	学級活動や児童会・生徒会活動等で、児童・生徒が自発的・自治的に活動できるように工夫しながら指導している。	51	37	8	2	3	0		
保護者・地域との連携	16 情報発信	学校便りや学年便り、学校ホームページ等で、保護者や地域の方に、学校の教育活動の様子を分かりやすく知らせている。	68	24	6	1	2	0		
	17 相談への対応	児童・生徒や保護者からの連絡や相談を丁寧に受け止め、適切な対応をしている。	39	46	4	3	8	0		
	18 学校への参加	学校公開週間や土曜授業日、学校行事等では、保護者や地域の方が参加しやすいように工夫している。	41	34	13	7	6	0		
	19 地域との連携	地域の行事などに協力的で、連携を図っている。	39	44	5	2	10	0		
	20 意見の反映	保護者や地域から寄せられた意見や要望を受け止め、学校運営と教育活動の改善に努めている。	54	18	13	5	10	0		
各学校の特色ある教育	21 俳句掲示	学校は俳句を作る学習を通して、言語活動を充実させ、児童の作品を地域に発信している。	68	18	8	2	3	0		
	22 なかよし班活動	学校は、なかよし班活動の縦割り班で遊ぶ活動を通して、異学年との交流を図り、社会性を育てている。	73	18	4	2	3	0		
	23 外部講師	学校は、外部講師による授業を通して、専門的な知識や技能に触れさせ、児童の興味や関心を高める教育を行っている。	53	33	11	1	3	0		
	24 プログラミング教育	学校は、レゴなどの教材を使って、児童が楽しくプログラミングの学習を進めるように工夫している。	49	37	5	3	6	0		
	25 工夫した教育活動	学校は、感染症対策を図りながら、教育活動を工夫して実施している。	44	25	9	3	18	0		

無効票を除く(%)



無効票を除く(%)

学校の自己評価（考察）

昨年度と同様に児童、保護者、教職員の肯定的評価が80%を超えた。教育方針は十分に伝わっていると思われる。

保護者の肯定的評価が70%から80%に10ポイント上がった。児童が明るく生活できた様子が保護者に伝わった成果と考える。

保護者の肯定的評価が昨年の64%から80%と16ポイント上昇した。教職員は肯定的評価が90%近くになった。指導の成果が数値に表れたと考える。

昨年度同様に、児童、保護者、教職員の肯定的評価が80%を超えた。一定の評価を得た。児童一人一人のよさを大切にする指導を継続する。

児童、保護者、教職員の肯定的評価が約90%を占めた。今後も児童が安心安全な学校生活を送れるように配慮し、高い評価を目指したい。

保護者の肯定的評価が81%と、昨年度から21ポイント上昇した。教員の指導に係わる努力が評価されたと考える。

肯定的評価が児童88%となったが、保護者76%と、児童と比較すると十分ではない。改善に向けて、より丁寧な「個に応じた指導」を実施する。

昨年度と比較し、数値はほぼ同様であった。学習習慣の定着に向けて、寺子屋の活用や家庭学習への呼びかけを実施したい。

児童、保護者の数値は昨年度とほぼ同値であった。タブレットPCやICT機器を活用した授業を増やし、情報活用能力を向上させたい。

昨年度より肯定的評価が児童、保護者で微増した。今後も学校司書との連携を大切に、よりよい図書館活用を目指したい。

肯定的評価が保護者は85%と昨年度より21ポイント上がり、児童も85%と高い数値となった。今後も人権教育に力をいれ、発信の方法を検討していきたい。

児童の肯定的評価は昨年度とほぼ同値だが、保護者は肯定的評価が18ポイント上がった。今後も道徳教育に力を入れ、肯定的評価の数値の向上を目指したい。

昨年度と比較し、児童、保護者の否定的評価・不明は減少した。SC情報発信、相談の活用を継続し、肯定的評価の回答を増やしたい。

校外の学校行事や体験学習が実施できるようになってきた。保護者のA評価が昨年度45%から73%に28ポイント上昇した。段階的な実施を評価していただいた成果と考える。

児童、保護者の肯定的評価は微増だが、教職員の否定的評価が11ポイント増えた。教職員間でよりよい指導方法を模索していきたい。

保護者、教職員は概ね高評価だが、児童の「分からない」が9ポイント増加した。児童も分かる情報を意識し、興味を持てるような情報発信を心掛けたい。

保護者の肯定的評価が20ポイント上がった。児童の相談に迅速に対応し、保護者へ逐次状況を説明することを今後も実施する。

昨年度より肯定的評価が児童14ポイント、保護者16ポイント上がった。感染症対策を工夫し、授業公開や学校行事を実施できたことが数値に表れたと思われる。

保護者の「分からない」の回答が昨年度の27%から21%と6ポイント減った。コロナの感染状況を踏まえつつ、地域との連携を深めていきたい。

児童、保護者の肯定的評価は70%を超えたが、否定評価や不明の回答も25%を占める。意見の反映を学校で情報共有し、対応できるように努めたい。

児童は70%、保護者は88%が肯定的評価であった。地域から本取組への賞賛や励ましの声を多数いただいております。今後も外柵への俳句掲示を継続する。

児童、教職員の肯定的評価は昨年度とほぼ同値であった。保護者は13ポイント上がった。児童の肯定的な感想が家庭でも共有された結果と思われる。

保護者の肯定的評価が昨年度比で13ポイント上がった。今後も外部講師に協力していただき、児童の興味や関心を高めながら児童の学びを深める。

児童、教職員は概ね肯定的評価だが、保護者の「分からない」の回答が17%と多い。保護者に伝わるような情報発信に努めたい。

児童、保護者、教員の肯定的評価が80%を超えた。今後も感染症対策を図りながら教育活動の工夫を実施する。